

株式会社スナハラ

■事業

包装ライン設備導入に伴う生産能力向上と
低コスト化による市場シェア・販路拡大

■対象類型

革新的サービス

■導入機械装置

自動計量包装機、自動捺印機、ウェイトチェッカー、業務用洗浄機

試行錯誤の末に辿り着いた
先見の明

【経営理念】

新しいものを世に出し、お客様に「おいしい」という感動と喜びを提供します

スモーク・ナッツを手掛け、全国にファンを広げている株式会社スナハラ。2012年に当時は珍しかった燻製したナッツを製造・販売したところ、お酒のつまみ、女性を中心に健康食品として人気を博し、13年の補助事業によって自動計量包装機などを導入したが、生産が需要に追いつかない状況が続いている。2020年春には新工場を建設し、現在の年商の3倍を目指す。

元々は、酒販店向けにピーナッツなどのおつまみの珍味を卸し、店頭での小売をしていた。酒販店の閉鎖が相次ぐようになり、新たな事業を模索していたところ、知人から「東京の飲み屋では、燻製のナッツが出てくる」という情報を得て興味が湧き、燻製機を買って挑戦した。

使うチップによって味が大きく異なることから、約1年半の試行錯誤を繰り返し、カシューナッツやアーモンドなどのナッツとは相性が良かった雲南市産の山桜のチップを使うことにした。12年に製造部を設け、個人商店から株式会社に法人化した。

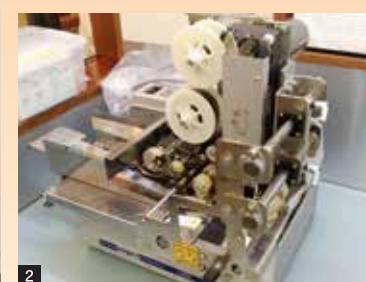
プライベートブランドでの差別化
生産能力アップに伴う雇用増

法人化と同時期から、全国の食品バイヤーが集う幕張メッセでのスーパーマーケット・トレードショーに出展したものの、燻製したナッツの認知度は低かった。しかし、翌年は東京の酒類・食品の卸売会社の目に留まり、PB（プライベート・ブランド）で全国展開されることになった。

全国展開を皮切りに、それまでとは受注ロットが桁違いになった。第2工場を新設し、補助事業を活用して、決められた重さを量って包装する「自動計量包装機」、賞味期限、などを袋に書き込む「自動捺印機」、商品を梱包場所にベルトコンベヤーで運びながら重さをチェックする「ウェイトチェッカー」、器具を洗う「業務用洗浄機」を導入した。計量包装機は手作業の6・8倍、捺印機は1時間に4000枚の印字が可能になり、手作業の6・6倍などの能力向上となった。洗浄機は手



商品を手にする砂原誠社長

製造ラインの機械化で
生産性の向上と大幅なコストダウンを実現□ものづくり技術 ☒革新的サービス1 導入された自動計量包装機
2 自動捺印機
3 ウェイトチェッカー

作業では1日かかっていたものが1時間できれいになった。1袋当たり61%の人件費のコストダウンが図れたが、作業量の増大に伴い、新たに3人を雇用して4人体制にした。現在は8人体制にして、需要に応じている。

新工場建設へ
品質向上・生産体制を整え大きな一歩

それでも、供給が間に合わないため、現在の5倍の処理能力を持ち、原料から製品までの過程を管理してリスク要因を排除するHACCP（ハサップ）に対応した新工場の建設に踏み切った。新設により現在の年商1億3000万円を、数年で3億円にまで引き上げ、完成から5年後には5億円を目指す。

燻製ナッツは、全国各地でライバルが登場してきており、ナッツは米国やインドなどからの輸入に頼らざるを得ず、国際情勢に左右される。今後は新たな燻製商品の開発を手掛け、さらにはナッツの自家焙煎を行って付加価値を高め、さらにオリジナルな燻製ナッツの提供も視野に入れている。

■Company Data

株式会社スナハラ



スナハラ本社

代表者名：砂原 誠
設立年月日：平成24年
資本金：1,000千円
従業員数：12名
主たる業種：飲食料品卸売業
売上：130百万円
本社：〒699-0402 島根県松江市宍道町白石77-43
第二工場：〒699-0406 島根県松江市宍道町佐々布117-8
本社電話：0852-66-2626
本社FAX：0852-66-0070